

第 231 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2023 年 1 月 17 日（火）午後 3 時 00 分～4 時 12 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、野口貴文（委員長） （五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
1. 前回議事概要の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 																								
2. 「積算資料」2 月号土木系資材の価格変動の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査対象資材のうち、2 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><品目></th> <th style="text-align: center;">[地区]</th> <th style="text-align: center;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td style="text-align: center;">東北</td> <td>駆け込み需要が一巡する中、主原料の鉄スクラップ相場は反騰したが、需要者は当用買いに終始している。東北は、メーカーが11月に打ち出した値上げの一部が浸透し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>鉄スクラップ</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>市中発生量が依然低調な中、旧正月前の在庫量確保のため韓国やベトナム向けの需要が回復し、国内需給はややひっ迫。国内電炉メーカーは購入価格を引き上げ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td style="text-align: center;">福井</td> <td>製造コスト増加を理由にメーカーが一昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">青森</td> <td>原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 6 月より値上げを打ち出す。採算悪化に苦慮する組合が売り腰を強める中、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">福島</td> <td>出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、年度末の工事最盛期を前に安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">千葉</td> <td>原材料コスト増加を理由に組合は昨年 7 月より値上げを打ち出す。好調な需要を背景に足並みをそろえ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			異形棒鋼	東北	駆け込み需要が一巡する中、主原料の鉄スクラップ相場は反騰したが、需要者は当用買いに終始している。東北は、メーカーが11月に打ち出した値上げの一部が浸透し、市況上伸。	鉄スクラップ	全国	市中発生量が依然低調な中、旧正月前の在庫量確保のため韓国やベトナム向けの需要が回復し、国内需給はややひっ迫。国内電炉メーカーは購入価格を引き上げ、市況上伸。	セメント	福井	製造コスト増加を理由にメーカーが一昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。	生コンクリート	青森	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 6 月より値上げを打ち出す。採算悪化に苦慮する組合が売り腰を強める中、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。	生コンクリート	福島	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、年度末の工事最盛期を前に安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	千葉	原材料コスト増加を理由に組合は昨年 7 月より値上げを打ち出す。好調な需要を背景に足並みをそろえ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
【上伸した資材】																									
異形棒鋼	東北	駆け込み需要が一巡する中、主原料の鉄スクラップ相場は反騰したが、需要者は当用買いに終始している。東北は、メーカーが11月に打ち出した値上げの一部が浸透し、市況上伸。																							
鉄スクラップ	全国	市中発生量が依然低調な中、旧正月前の在庫量確保のため韓国やベトナム向けの需要が回復し、国内需給はややひっ迫。国内電炉メーカーは購入価格を引き上げ、市況上伸。																							
セメント	福井	製造コスト増加を理由にメーカーが一昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。																							
生コンクリート	青森	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 6 月より値上げを打ち出す。採算悪化に苦慮する組合が売り腰を強める中、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。																							
生コンクリート	福島	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、年度末の工事最盛期を前に安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	千葉	原材料コスト増加を理由に組合は昨年 7 月より値上げを打ち出す。好調な需要を背景に足並みをそろえ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	生コンクリート 岡山	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。足並みをそろえ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 札幌	製造コスト、運搬コスト増加を理由に砕石組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。新幹線延伸関連工事などで需給がひっ迫する中、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	軽油 全国	年明けに卸価格が上昇した中、激変緩和対策事業の補助金支給額が据え置かれたことから、仕入コストが上昇した流通業者は小幅ながら価格転嫁を進め、市況上伸。
	再生加熱アスファルト混合物 秋田、山形	原材料のストアス価格は下落したものの依然として高値圏を維持。採算悪化による危機感を強めたメーカーは値上げ未達分を求めて売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 岐阜、名古屋、津	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 1 月から 4 月にかけて値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、鉄筋やセメント等のさらなるコスト増加から売り腰を強め、市況上伸。
	自由勾配側溝 RC ボックスカルバート 秋田	原材料、運搬コスト増加を理由に最大手メーカーは昨年 8 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降、他社も値上げに追随し、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート積みブロック 岐阜、名古屋、静岡	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降、セメントの再値上げを機に売り腰を強め、市況上伸。
	コンクリート積みブロック 津	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは一昨年度より値上げを打ち出す。需要の大幅減少で交渉は難航したが、2 社まで減少した製造メーカーがセメントの値上げを機に売り腰を強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○セメントについて、今回、福井地区のみ他地区より遅れて価格が上昇しているが、値上げの浸透時期の違いには、どのような要因があるのか。</p> <p>○一部資材の説明で、原油相場下落や為替の円高について触れていたが、軽油は今回価格が上昇している。軽油についても今後為替の影響が現れるのか。</p> <p>3. 「積算資料」2月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○型枠用合板のヒアリング調査で、「工事業者の人手不足が続いている」という情報があったが、どのような状況か。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>【下落した資材】 ストレートアスファルト 全国</p> <p>ストアス価格算定期間内の中東産原油価格は下落し、元売会社は卸価格を引き下げた。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において卸価格の変動額を反映し、市況下落。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セメントは主たる需要者が生コン工場となるため、地区事情が大きく影響する。各地区におけるセメントメーカーのシェアや競合具合、影響力、また、各地区の生コン単価の値上げ浸透状況などにより、生コン工場の値上げ受け入れの時期に差が生じている。 ・軽油については、原油相場や為替の影響も受けるが、現在、原油価格がコロナ禍前と比べ依然高値圏にあるため、政府の激変緩和措置の補助金により一定水準に抑えられている。今月は、年末年始に補助金が据え置かれた影響で小幅に上昇したが、補助金が支給される間は、あまり大きな変動はしないまま、現行水準が維持されると思われる。 ・審査対象資材のうち、2月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市はなかった。 ・型枠工事に関しては、大都市の再開発工事や熊本の半導体工場新設工事などを中心に人手不足が発生していて、工事が少ない地域からの応援などのやりくりで対応している。人手不足の一番の要因は、工事が集中していることもあるが、為替の影響もあり外国人労働者が入ってきていないためだと聞いている。 <p>・2023年2月17日（金）10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
 - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
 - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。